

「同志社データサイエンス・AI教育プログラム」

DDASH 開講

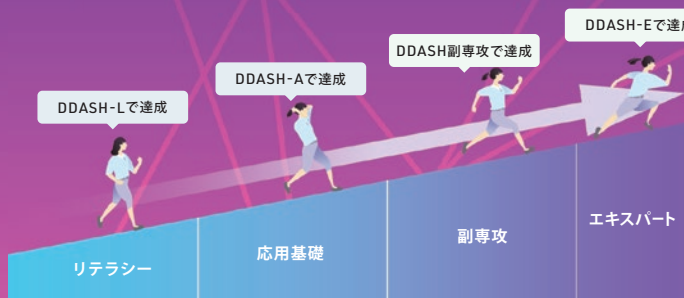
2022年4月

※DDASH ディーダッシュ：Doshisha Approved Program for Data science and AI Smart Higher Education

「読み・書き・そろばん」は
現代社会の
「数理・データサイエンス・AI」

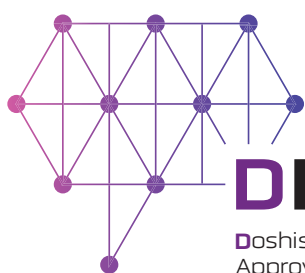
大企業の約半数が経営企画や製品企画、マーケティングにデータを活用、約2割がさらに高度なAIや機械学習技術をビジネスに利用、加えて、大企業の約5割がデータ分析専門の部署を置いています。現代社会におけるデータ利活用は急速に広がりました。文系だから、専門外だから関係ないという判断では時代に取り残されてしまいます。データ分析に関する知識技能は、文系・理系の垣根なく現代の「読み・書き・そろばん」。社会人基礎力として必要とされているものです。

※参考：総務省情報通信白書「日本企業におけるデータ活用の現状」



学部3つのレベルと 大学院レベルのDDASH

リテラシーレベルの〈DDASH-L〉と応用基礎レベルの〈DDASH-A〉に分けて展開。また、〈DDASH-L〉および〈DDASH-A〉で習得する知識技能や応用基礎力に加えて、専門知識やその活用法を習得することで「修了」となる〈DDASH副専攻〉も提供します。



DDASH

Doshisha
Approved Program for
Data science and
AI Smart Higher Education

DDASH 紹介動画を公開中!

DDASH 概要サイト
「DOSHISHA VISION 2025」特設サイト



数理・データサイエンス・AIの リテラシー学習のスタートダッシュをアシスト!



DDASH-L

2022年度から全学部生を対象にスタートする教育プログラムで、実社会で目にするデータを適切に読み解き、使い方を判断できる水準の数理・データサイエンス・AIに関する能力習得を目標とする、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に準拠したものとなっています。

科目構成	
必修科目(2単位)	「データサイエンス概論」
選択科目(各2単位)	「数学1」「数学2」「データサイエンス1」「データサイエンス2」 「論理的思考の基礎(1)」「論理的思考の基礎(2)」 「論理的思考の応用(1)」「論理的思考の応用(2)」 「Statistics for the Social Sciences and Humanities」
修了要件	必修科目2単位、選択科目4単位以上、計6単位以上を修得すること。
備考	DDASH-Lは、2021~2015年度生も履修可能。

- 文系・理系を問わずすべての学生が履修可能な教育プログラム
- 10数年におよぶデータサイエンス教育の実績に立脚
- 必修科目には様々な分野の外部講師を招聘(※以下、順不同)

※ 総務省統計局・独立行政法人統計センター、株式会社日経リサーチ、アステラス製薬株式会社、株式会社リクルート、京セラ株式会社、株式会社Agoop

More points

- プログラムにおける必修科目はフルオンデマンドで開講
- 総合大学の強みを生かし、既設の科目をパッケージ化
- 学内複数学部を結集して教材を作成
- すべての学部から教員が参加するワーキング・グループでプログラムを点検・検討
- 統計検定を用いた質の自己検証(同志社大学生向け特別価格で受験可能)

その他のプログラム

DDASH-A / DDASH 副専攻

DDASH-AとDDASH副専攻は、2023年度からの提供に向けて検討を進めています。DDASH-A(修了要件12単位以上)は文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」に準拠したものとし、必修科目として「データサイエンス基礎」「データエンジニアリング基礎」「AI基礎」の3科目(各2単位)を予定しています。DDASH副専攻(修了要件20単位以上)は、DDASH-LとDDASH-Aを包含した教育プログラムとして提供予定です。

